



阿部けいし

あ 日本維新の会では、
衆議院兵庫県第2選挙区支部長（衆議院議員選挙立候補予定者、神戸市兵庫区・北区・長田区・西宮市北部）に、

37歳

- 在宅医療の現場出身
- 危機管理のプロ
- 国際経験で即戦力

さんの就任を決定しました。



日本維新の会 共同代表
吉村 洋文



日本維新の会 代表
馬場 伸幸



兵庫維新の会 代表
参議院議員 片山 大介

阿部けいし物語

はじめまして！
阿部けいしです。
自己紹介させてください！

● 宮城県仙台市生まれです
小6から岡山県へ、
岡山白陵中高卒業。兵庫県の
県境で、兵庫と岡山で青春時代を過ごす。

● 北海道大学医学部に入学し、
大学時代は、解剖学に
ハマったり、
茶道を始めたり、
北海道旅行に
明け暮れました。

● 東日本大震災直後に
宮城県沿岸部の
親戚を探して歩いた経験や、
研修医時代に在宅医療を
通じて社会全体を良く
することに興味を持った
経験から、

● 医療政策、感染症危機
管理、諸外国との外交に
従事しました。

● アメリカの大学院で
国際政治を学び、
厚生労働省に入省

● 2021年に帰国し、民
間の立場から政府・自治体・
企業 国際機関の危機管理事
業を支援。

「危機に強い社会を作るには、
政治でしか
出来ないことがある!!」

「国民を守る
危機管理改革！」

「身を切る改革」で
政治に信頼を
取り戻す！

「日本大改革」に向けた
税制・社会保障制度、
規制改革！

● 国際社会での
日本の力が下
がっている。
危機に強い
社会を作り、
一人でも多くの
命を救いたい。
そんな日々の中で感じたこと

● 全ての人が
安心して生きられる
社会を作りたい。

お問い合わせ
abekeishi.com

阿部けいし事務所 〒652-0042 兵庫県神戸市兵庫区東山町2-1-5

お問い合わせは
ホームページから





阿部けいしが政治家として何をしたいか

兵庫県第2選挙区支部長として国政に挑戦予定の、阿部けいしさんにインタビューしました。

聞き手：医師、厚生省、世界保健機関(WHO)、民間企業など多彩なキャリアを持ち、在宅医療の現場にも立っていた阿部けいしさんに、政治を志す理由を伺っていきます。

阿部けいし：「危機に強い社会を作る」というのが、私が生涯心血を注ぎたい課題です。その原点は、二つの「3・11」、一つ目は2011年の東日本大震災、二つ目は2020年の新型コロナウイルスパンデミック宣言です。当事

者として関わった2つの出来事が、私が国政を志すきっかけです。

震災で見た景色

阿部けいし：阪神淡路大震災の際、私はまだ小学生でしたが、その光景を覚えています。また私は宮城県生まれで、親戚が沿岸部に住んでいました。親戚に会った一週間後、津波がありました。2011年の東日本大震災直後、避難所を一つ一つ回って親戚を探して歩いて見た景色は、災害の多い日本で、多くの人々の暮らしを守りたいという、私の思いの原点になっています。



聞き手：その後、医師になり、厚生労働省へ。現場で感じた課題は？

阿部けいし：西アフリカのエボラ出血熱に現地では日本人が感染した際のオペレーションを構築したり、様々な感染症対策に従事しました。しかし政府職員が危機管理を学び高める環境が少なく、今の政府の状況では大規模な危機が到来すれば、まだ多くの命が失われるのではと危機感を感じました。

混乱を極める現場の最前線で見えたコロナ



阿部けいし：2020年のパンデミック宣言時は、WHO本部でコロナ対応の渦中にいました。各国の危機対応の調整をする仕事です。日本政府とも話した際、コロナ関連の各法律も省庁も複雑に入り組み、危機対応にあたる方々への教育訓練もない、日本の現状に大きな課題を感じました。

聞き手：そんな阿部けいしさんが、政治を志す理由は何ですか？

阿部けいし：一つは「危機に強い社会」を作ることです。日本は歴史的に、自然災害や事故、感染症など発生した危機に応じて個別に法律を整備するという方策をとってきました。その結果、対応がそれぞれ異なり、応用が効かない。これから日本が、南海トラフ地震、首都直下地震、台湾有事、パンデミック等、多様な国家的危機に直面することが予測される中で、一人でも多くの国民を守る社会を作ることに、私も全力を尽くしたいと思います。また私は、医師として在宅医療の現場でも働いてきました。現場で見てきた経験を活かして、地域で安心して暮らし、年を重ねられる社会づくりも実現していきます。

「身を切る改革」で政治に信頼を取り戻す



中央集権の限界を突破する統治機構改革、地方分権と地方の自立



安全保障の抜本強化とリアルズム外交による新しい外交安保



国民生活を支える景気対策



8つの基本政策

「日本大改革」に向けた
税制改革・社会保障制度
改革・規制改革



次世代(教育・子育て)への徹底投資、多様性を支える社会政策



国土と国民を守る危機管理改革



憲法改正に
正面から挑み、時代に
適した「今の憲法」へ

